



公エ予070455号
令和7年4月30日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } エイズ対策担当課長 様

公益財団法人エイズ予防財団
理事長 白 阪 琢 磨
(公印省略)

令和7年度世界エイズデーポスターコンクールの実施について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素からエイズ対策につきましてご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では、厚生労働省からの委託を受け、青少年エイズ対策等事業を実施していますが、その一環として、青少年へのエイズに関する知識の普及啓発のため、別添実施要領のとおり、世界エイズデーポスターコンクールを実施することといたしました。

つきましては、本コンクールへのご協力をお願いするとともに、貴管下関係機関（教育委員会、学校等）への周知方をお願い申し上げます。この場合、規格外のサイズや横向きの作品は審査対象外となる等、実施要領を十分に確認して応募するよう周知いただければ幸甚です。

なお、実施要領は、エイズ予防情報ネット (<https://api-net.jfap.or.jp/>) に収録しているほか、本年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは、決定され次第、同サイトで公開することを申し添えます。

【本件照会先】

エイズ予防財団事務局（堀内）

電話：03-5259-1811

令和7年度世界エイズデーポスターコンクール実施要領

1 目 的

WHO（世界保健機関）の定める世界エイズデー（World AIDS Day：12月1日）に際し、全国の小学校・中学校・高等学校及び一般を対象に、ポスターデザインを募集するコンクールを実施し、ポスターの制作を通じてHIVとエイズについて考え、これらに対する知識と予防の理解を深めることを目的とします。

2 主 催

公益財団法人エイズ予防財団（厚生労働省委託事業）

3 募集区分

作品（ポスター）の募集は、次の3区分により行います。

(1) 小学生・中学生の部 (2) 高校生の部 (3) 一般の部

4 募集内容

募集する作品は、一人ひとりがHIV感染予防に取り組むことを訴えるもの、HIV陽性者・エイズ患者への理解と支援を呼びかけるもの、HIV検査の受検を呼びかけるものとしします。

5 応募規格

応募作品は、四つ切り画用紙（縦540mm×横380mm）又は B3判（縦515mm×横364mm）のサイズで、縦向きとします。コンピュータグラフィックスによる作品もこの規格サイズで印刷してください。

なお、規格外のサイズ、横向きの作品は審査対象外となります。

6 応募方法

応募作品は1人1点で、平面のものに限ります。「応募用紙」（別紙様式）に所定の事項を記入し、作品裏面に貼付の上、郵便又は宅配便により送付してください。その際、作品を折りたたんだり、丸めたりしないでください。

なお、応募作品の返却はいたしません。

7 応募上の注意事項

① 応募作品は未発表のオリジナルに限ります。それ以外の作品（既発表作品、模倣・類似と認められる作品等）は審査から除外するとともに、受賞決定後であってもこれを取り消す場合があります。また、作者本人の了解無く応募したことによるトラブルについて主催者は関知しません。

② 応募者は応募作品に関して、知的財産権等第三者の権利を侵害するものでな

像はエイズ予防情報ネットに掲載します。

【エイズ予防財団ポスターコンクール審査会】

審査員長	中島邦信	元 公益社団法人A C ジャパン常務理事
審査員	芦澤信之	厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部 感染症対策課エイズ対策推進室室長補佐
	川畑千種	文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官
	何 英二	元 株式会社電通クリエイティブ局 クリエイティブディレクター
	都丸雅明	元 A A A 運営事務局事務局長
	灰 来人	グラフィックデザイナー 認定 NPO 法人魅惑的倶楽部・福岡コミュニティ ーセンターHACO 職員 notAlone Fukuoka H I V 陽性者交流会代表 (敬称略。五十音順)

11 キャンペーンポスターへの使用等

- ① 審査会において各募集区分の最優秀賞に選考された作品（計3点）のうち1点を本年度の世界エイズデーキャンペーンポスターとして使用します。
- ② キャンペーンポスターには、必要に応じて、厚生労働省、エイズ予防財団等の文字情報が付加されます。また、作品の一部を修正することがあります。
- ③ 各受賞作品は、「世界エイズデー」（12月1日）、「H I V 検査普及週間」（6月1日～7日）等における予防啓発活動に使用するほか、H I V 感染予防の啓発普及パンフレット、チラシ、グッズ等のデザイン（非営利目的のみ）、雑誌等への掲載広告に利用することがあります。
- ④ 主催者等が受賞作品を利用して広報用ポスター、パンフレット等を作成する場合、所属学校名、氏名を掲載することがあります。
- ⑤ 受賞作品のポスター画像はエイズ予防情報ネットに掲載し、ダウンロードフリーとします。

12 問い合わせ先

公益財団法人エイズ予防財団 事務局
電話 03-5259-1811

(参考1)

H I Vとエイズの基礎知識

◆ エイズとは？

- ① エイズ (AIDS = Acquired Immunodeficiency Syndrome) は、日本語にすると「後天性免疫不全症候群」といい、HIV というウイルスに感染して起こる病気です。

HIV に感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、また、風邪に似た症状が出る場合がありますが、HIV 検査を受けなければ感染しているかどうかは分かりません。

病気とたたかう抵抗力 (免疫) が低下して発症するまで数年と、ある一定期間自覚症状のない時期が続くことが特徴です。

- ② HIV の感染経路は限られているので、感染を予防することができます。

感染経路 ○ 性行為 (異性間・同性間) による感染
 ○ 血液を介しての感染 (注射器具の共用など)
 ○ 母親から赤ちゃんへの母子感染

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ 予防することで HIV 感染が防げること。
- ・ 予防のためには、感染経路についてきちんと理解すること。予防のためにはどのような行動が大切かを理解すること。
- ・ ひとつとではなく、自分のこととしてこの病気を考えることが大切。

◆ 世界と日本のエイズ

- ① 国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の発表によると、2023年末現在で約3990万人の HIV 感染者とエイズ患者が世界中でこの病気とたたかっています。

- ② 日本における2024年の HIV 感染者及びエイズ患者の新規報告数 (速報値) は、1,000 件であり、2年連続で増加しました。今後の状況を注視していく必要があります。

*ポイント (伝えたいメッセージ)

- ・ HIV 感染が身近な問題であること (世界でも日本でも)。

(参考2)

エイズ広報を行う際の留意事項（不適切な表現等）

患者・感染者を傷つけたり、差別、偏見を助長するような表現は避ける

◇エイズ撲滅、エイズ抑圧、エイズ根絶

→ 患者・感染者が傷つく表現なので避ける。「HIV 感染症／エイズのまん延の防止」「患者・感染者に対する差別と偏見の解消」などの表現が望ましい。

◇エイズをたたきのめす、やっつける

→ 患者・感染者を排除しようとするイメージを与える表現なので避ける。

◇エイズ汚染、エイズ禍、ウイルスをまき散らす

→ 患者・感染者が社会を汚しているというイメージを与える表現なので避ける。

◇理性ある行動をとるべき、節度ある行動をとるべき

→ 患者・感染者はだらしない人というイメージを与える表現なので避ける。

◇ハイリスクの人、エイズ多発国、エイズ先進国

→ 危険なのは、「人」ではなくハイリスクな「行動」。また、HIV 感染の流行について「多発国」「先進国」という表現は不適切なので避ける。

◇（感染すると／発病すれば）必ず（100％）死ぬ

→ 近年、治療の進歩により、HIV 感染症が早期に診断されれば、服薬を続けることでエイズ発症を抑えることが可能である。また、エイズを発症したとしても、適切な治療を受けることで「必ず（100％）死ぬ」とは限らず、適切な表現ではないため避ける。

◇エイズの恐怖・魔の手、忍び寄るエイズ

→ いたずらに恐怖心をあおる表現は避ける。

◇ホモ（ホモセクシュアル）

→ 蔑称として使われることが多い。「MSM*」「男性同性愛者」「ゲイ」などの表現が望ましい。

*MSM (Men who have sex with men) : 男性で同性間性的接触を行う者（バイセクシュアルも含まれる。）

◇レズ

→ ホモとセットで蔑称として使われている。「レズビアン」「女性同性愛者」などの表現が望ましい。

◇多数との無防備なセックス

→ 相手が多数でなければ大丈夫という誤解を与えるため避ける。

◇コンドームを使うのは男の役割

→ 女性用コンドームの使用もありうること、また、同性間での性的接触もあることなどから、適切な表現ではないため避ける。